

お口の^{くち}の健康情報室

歯周病と糖尿病には深い関係があります。糖尿病は、歯周病を悪化させる大きな要因になるのです。

糖尿病になると免疫力が低下し、歯肉の毛細血管の組織が破壊されます。その結果、歯周病菌や他の細菌に感染しやすくなります。急速に重症化して、歯を失ってしまうこともあります。実は口内の歯

糖尿病 歯周病を悪化

垢には、便に匹敵するほどたくさん細菌がすみついていきます。

糖尿病の人が歯周病になると、歯周病菌の持つ毒素が血管内に入り、血糖値を下げるインスリンの働きが悪くなります。そのため血糖値のコントロールがより難しくなり、ますます歯周病や糖尿病が悪化するという負のスパイラルに陥ってしまいます。

歯周病は痛みなくジワジワ進行していくため、痛みを伴う頃にはかなり悪化していることも少なくありません。お

いしく食事ができ、健康寿命が延びてこそ豊かな生活といえます。自覚症状がなくても、定期的に歯科医院を受診して、重症化を未然に防ぎましょう。

(千葉県歯科医師会)



日本歯科医師会PRキャラクター
よ坊さん(千葉県)当地版)